

バチルス・サブチリス由来のアセチルコエンザイムA合成酵素、組換え型

Cat. No. NATE-0797

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 アセチル-CoA合成酵素（ACS）またはアセテート-CoAリガーゼは、アセテートの代謝に関与する酵素（EC 6.2.1.1）です。これはリガーゼクラスの酵素であり、2つの大きな分子の間に新しい化学結合を形成する反応を触媒します。

別名 アセチル-CoA合成酵素; アセチル活性化酵素; アセテートチオキナーゼ; アシル活性化酵素; アセチルコエンザイムA合成酵素; アセチルチオキナーゼ; アセチルCoAリガーゼ; アセチルCoA合成酵素; アセチルコエンザイムA合成酵素; 短鎖脂肪酸アシル-CoA合成酵素; 短鎖アシルコエンザイムA合成酵素; ACS; EC 6.2.1.1; 9012-31-1

製品情報

由来 バチルス・サブチリス

形態 液体

EC番号 EC 6.2.1.1

CAS登録番号 9012-31-1

分子量 ~ 66kD

活性 ~ 25 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、酢酸、ATP、およびコエンザイムAから、NAD⁺の存在下でTEAバッファのpH 8.4および25°Cで、1分あたり1μmoleのアセチルコエンザイムAを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C